

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人 玄洋会 福津子ども発達センター・さくら館			
○保護者評価実施期間	令和7年1月27日		～	令和7年2月7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	児発：41名/デイ：91名	(回答者数)	児発：/デイ：名
○従業者評価実施期間	令和7年1月27日		～	令和7年2月7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	22名	(回答者数)	22名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月13日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	基準以上の職員の配置及び、活動スペースの確保を行なっている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・急な体調不良や不穏時にすぐに別室で過ごせるよう準備を行なっている。</li> <li>・職員の定着率を維持できるよう、働きやすい環境作り(休みを取りやすい、職員自身の将来像に沿った業務の割り振り等)に努めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、働きやすい環境を整えられるよう業務の見直しやマニュアル化、また継続的な研修の場の設定を行なっていく。</li> </ul>
2	法人内で切れ目のない支援体制を整えている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児、児童期以降の法人内のサービス(就労、生活介護)とも連携し、必要に応じて見学や体験の場を設けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人内の事業所との交流を活発に行ない、中長期的な視点で支援できる体制を整えていく。</li> </ul>
3	活動プログラムを豊富に提供している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・より専門的な活動体験の場を提供できるよう、外部講師を招いている。</li> <li>・保護者の主訴や本人の意向を汲み取りながら、活動プログラムの設定を行なっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関との情報共有と通して、幅広い視点で活動プログラムの見直しを行なう。</li> </ul>

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	医療的ケアが必要な子どもの受け入れ体制を整えていない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・看護師等の医療的な資格を持つ職員がいない。</li> <li>・医療的なケアに必要な設備を整えていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、相談を受け付けた際は他事業所の紹介を行なっている。</li> <li>・地域のニーズと事業所のマンパワーを鑑みながら体制の検討を行なっていく。</li> </ul>
2			